

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 3 月 8 日(2023.3.8)

【公開番号】 特開 2021-137129(P2021-137129A)
【公開日】 令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-044
【出願番号】 特願 2020-35367(P2020-35367)
【国際特許分類】

A 6 1 B 9 0 / 3 0 (2 0 1 6 . 0 1)

G 0 2 B 2 1 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 B 9 0 / 5 0 (2 0 1 6 . 0 1)

【 F I 】

A 6 1 B 9 0 / 3 0

G 0 2 B 2 1 / 0 6

A 6 1 B 9 0 / 5 0

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 2 月 28 日(2023.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

観察光学系の観察領域に、投影光をそれぞれ投影する複数の投影部、
を備え、

前記複数の投影部のうち少なくとも 2 以上の投影部は、前記観察光学系の光軸を含む互
いに異なる平面内に投影光をそれぞれ出射し、

前記 2 以上の投影部が出射する投影光は、前記観察光学系が取り得る少なくとも作動距
離の範囲のいずれかの位置で交差する、

医療用投影装置。

【請求項 2】

前記複数の投影部の少なくとも一つは、当該投影部が投影光を出射する平面において放
射状に光を出射して、前記観察領域において線状の前記投影光を照射する、

請求項 1 に記載の医療用投影装置。

【請求項 3】

前記複数の投影部の少なくとも一つは、光の出射位置を走査することによって照射され
る複数の点状の光が線状に並んでなる前記投影光を照射する、

請求項 1 または 2 に記載の医療用投影装置。

【請求項 4】

前記複数の投影部の少なくとも一つは、他の投影部に対し、前記観察光学系の光軸のま
わりに回転する、

請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載の医療用投影装置。

【請求項 5】

前記 2 以上の投影部が出射する投影光は、前記観察光学系が取り得る作動距離の範囲の
すべての位置において交差する、

請求項 1 ～ 4 のいずれか一つに記載の医療用投影装置。

【請求項 6】

10

20

30

40

50

前記作動距離の範囲は、合焦可能範囲である、
請求項 1 に記載の医療用投影装置。

【請求項 7】

観察領域における被写体を撮像する撮像部と、
観察光学系の観察領域に、投影光をそれぞれ投影する複数の投影部、
を備え、

前記複数の投影部のうちの少なくとも 2 以上の投影部は、前記観察光学系の光軸を含む
互いに異なる平面内に投影光をそれぞれ出射し、

前記 2 以上の投影部が出射する投影光は、前記撮像部の観察光学系が取り得る少なくと
も作動距離の範囲のいずれかの位置で交差する、

医療用観察システム。

10

20

30

40

50